4-11 ブロッキング

現　象

- ボデーカバー･木の葉などが塗膜面に付着して、その痕跡がのこる。

原　因

- 硬化剤やノンブラッシングの入れ過ぎなどによる乾燥不良。
- ボデーカバーなどからの可塑成分の移行。
- ラッカー系の塗膜

環境による要因

【 木の葉などの付着（高温時）】

使用誤りによる要因

【 硬化剤の過不足 】
【 ノンブラッシングの入れ過ぎ 】

塗装作業による要因

【 厚塗り 】
【 乾燥不足 】

その他による要因

【 ボデーカバーの材質が悪い 】
【 長期間のボデーカバー 】

対　策

- 塗装作業では硬化剤の過不足やノンブラッシングの入れ過ぎに注意し、乾燥不良にならないようにする。
- ボデーカバーをかける場合は塗膜が完全に硬化していることを確かめる。（通常は塗装後1ヵ月程度）
- 濡れた車にカバーをかけ、炎天下に長時間放置しないこと。（ボデーカバーの可塑剤が溶出し塗膜を侵すことがある）

処　置

- 痕跡を完全に研ぎ落とし、再塗装する。